

1. 会社の現況に関する事項

(1) 第27期事業概況

■ 安全安定輸送への取組み：

- 年末年始安全総点検を実施
- 「安全を考える日」非常呼集訓練
- 実車を使用した異常事対応訓練
- 保全整備計画の実施
- 12月10日～1月10日の間、社内全箇所を点検
- 2月22日、列車事故発生を想定した全社員の非常呼集訓練を実施
- 地震～大津波を想定、実際に車両を使用した訓練会
- 安全性緊急評価に基づくトンネル2箇所・橋梁2箇所の危険箇所を改修

■ 支援の状況と経費節減について

- 鉄道軌道近代化設備整備事業補助金
- 18年度経常損失補助
- その他
- 経費削減
- 市町村 20,900千円・県 20,900千円・国 27,500千円
- 市町村 59,716千円・県 59,716千円
- 三陸鉄道利用強化促進協議会・ファンクラブ・友の会など。
- 乗務員による給油・清掃・構内作業、検査・修繕の一部直轄化をはじめ、19年度は給与の削減（役員 20%・管理職 10%・一般職 5%）も実施。

■ 運輸増収活動：

- 企画列車運行
- 観光路線としての柔軟な対応
- イベント車両を導入し、花見牡蠣列車・スイーツ列車・初詣列車・クリスマス列車、および冬のこたつ列車などの運行は定例行事となりました。
- 橋梁上など、景色の良い箇所で一旦停車し、運転士が観光案内を行っています。また、観光団体に対し臨時列車の運転や車内での産直販売・運転士の虎舞披露も実施しています。

■ 物産企画など：

- 三鉄赤字せんべい、栄えある受賞
- オリジナル商品開発
- 観光プロフェッショナル育成
- 平成 19 年度躍進いわての産業まつり・特産品コンクールにて、「岩手県産業貿易振興協会会長賞」受賞
- 赤字カットわかめ・よろ昆布巻・トミーテック「鉄道むすめ」キャラクター：久慈ありすの音楽CDやバレンタインデーに合わせた「ありすのショコラ」等発売
- 岩手県観光協会より、釜石駅長が「いわて観光おもてなしマイスター」に認定いただきました

■ 旅行業における主な実施団体：

- 修学旅行（春季中学校、冬季高等学校）
- 定例募集型企画催行
- 岩手県漁港漁村協会
- 中高生海外派遣団
- 自社線利用企画商品
- 中学校 11 校 579 名、高校 4 校 290 名の取扱
- 恐山参拝団 71 名、鶯宿温泉大名湯治 61 名で実施
- 全国漁港漁場大会（氷見市）45 名のご案内
- 沿線市町村主催 3 団体、43 名が米国・欧州へ
- 三鉄沿線の旅 232 名、タクシープラン 63 名をご案内

■ 20 年度の課題：

- 原油価格高騰による燃料軽油値上げ
- 車両、設備の老朽化対策
- 21～25 年度経営改善計画の見直し
- 着地型旅行商品の確立
- ダイヤ見直しを図り、運賃改定も視野に入れ検討
- 20 年度より施設管理部を新設、検査・管理を徹底
- 経営改善計画の見直しにおいては、現状および環境変化を勘案のうえ策定する
- 旅行業の今後のあり方を検討し、自社線のみならず地域観光振興の基盤となる商品づくり

(収入データは税込)

■ 19年度運輸収入合計 :	397,424 千円
18年度合計	382,928 千円
増減	+14,496 千円
前年比	103.8%

- 営業活動の推進に加え、「どんど晴れ」やJR北東北デスティネーションキャンペーン効果もあり観光客の入込が好調、大幅な増収となりました。
- 2期連続で前年を上回り、伸び率は過去最高です。(17年→18年は1,400千円増・100.4%)

■ 19年度乗車人員合計 :	1,036,153 人
18年度合計	1,041,196 人
増減	-5,043 人
前年比	99.5%

- 少子高齢化(通学生減)による定期券利用者、地元一般利用客の減少傾向は続いております。
- 観光団体が、前年度 54 千人から 84 千人と約 3 万人の乗車増、地元団体も同じく 1 千人増の 25 千人の利用をいただき、乗車人員 100 万人超は維持しました。

■ 一般個札収入計 :	201,426 千円
定期券	119,345 千円
地元団体	17,159 千円
観光団体	59,494 千円

- 一般個札 : 前年比+303 千円 (100.1%)
- 定期券 : -5,075 千円 (95.9%)
- 地元団体 : -234 千円 (98.7%)
- 観光団体 : +19,502 千円 (148.8%)

■ 北リアス線収入計 :	294,150 千円
人員計	711,770 人
■ 南リアス線収入計	103,274 千円
人員計	324,383 人

- 北リアス線
収入 : 前年比+16,618 千円 (106.0%)
人員 : + 6,261 人 (100.9%)
- 南リアス線
収入 : -2,128 千円 (98.0%)
人員 : -11,304 人 (96.6%)

(2) 主要な事業内容

- ア. 鉄道事業法による旅客運輸並びにこれに関連する事業
- イ. 旅行業法による第2種旅行業
- ウ. 物品販売業

(3) 事業所

本 社 盛岡市内丸 10 番 1 号

事業所 宮古本社

宮古市栄町 4 番地

北リアス線運行本部

久慈市川崎町 10 番 20 号

南リアス線運行本部

大船渡市盛町馬場 4 番 4 号

駅 有 人 4 駅 久慈・宮古・釜石・盛

無 人 21 駅 陸中宇部・陸中野田・野田玉川・堀内・白井海岸・
普代・田野畑・島越・小本・摂待・田老・
佐羽根・一の渡・平田・唐丹・吉浜・三陸・
甫嶺・小石浜・綾里・陸前赤崎

営業所及び店舗

三鉄ツーリスト（旅行業） 宮古駅内

リアスポックス（物品販売業） 宮古駅内

(参 考)

町村立等の観光センター設置箇所

陸中野田・普代・田野畑・島越・小本・田老・三陸・綾里の 8 駅

(4) 財産及び損益の状況の推移

区 分	17年度 (第25期)	18年度 (第26期)	19年度 (第27期)
営業収入	431,932千円	435,305千円	446,631千円
当期純利益	11,673千円		8,534千円
当期純損失		3,471千円	
1株当り当期純利益	389円		284円
1株当り当期純損失		115円	
総資産合計	552,408千円	432,600千円	438,142千円
総資本合計	223,459千円	219,987千円	228,522千円

(5) 従業員の状況

区 分	従業員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
男性	62名	1名減	42.9才	19年1ヶ月
女性	2名	0	37.4才	13年7ヶ月
計	64名	1名減	42.7才	18年11ヶ月

(注) この外に、臨時雇用社員が22名おります。

2. 会社の株式に関する事項

- (1) 発行する株式の総数 100,000株
- (2) 発行済株式総数 30,000株
- (3) 当期末株式総数 48名
- (4) 主な株主

株主名	持株数 (持株比率)	当社の当該株主への出資状況
岩手県	14,400株(48.0%)	0
宮古市	1,250株(4.2%)	0
(株)岩手銀行	1,200株(4.0%)	0
大船渡市	1,150株(3.8%)	0
新日本製鐵(株)	1,000株(3.3%)	0
東北電力(株)	1,000株(3.3%)	0
一関市	700株(2.3%)	0
久慈市	650株(2.2%)	0
釜石市	650株(2.2%)	0

3. 会社役員に関する事項

(平成20年3月31日現在)

(1) 取締役及び監査役の氏名等

氏名	会社における地位	他の法人等の代表状況等
達増 拓也	取締役会長	岩手県知事
熊坂 義裕	取締役副会長	宮古市長
甘竹 勝郎	取締役副会長	大船渡市長
山内 隆文	取締役副会長	久慈市長
野田 武則	取締役副会長	釜石市長
山口 和彦	代表取締役社長	
谷藤 裕明	取締役	盛岡市長
伊達 勝身	取締役	岩泉町長
上机 莞治	取締役	田野畑村長
深渡 宏	取締役	普代村長
小田 祐士	取締役	野田村長
上野 晋吾	取締役	岩手開発鉄道(株) 代表取締役社長
大井 誠治	取締役	岩手県漁業協同組合連合会 代表理事会長
藤尾 善一	取締役	岩手県地域振興部長
永野 勝美	監査役	(株)岩手銀行 代表取締役会長
佐藤 安紀	監査役	北日本銀行(株) 代表取締役頭取

注1. 取締役副会長 小沢和夫氏は、平成19年10月2日、逝去により退任いたしました。

注2. 平成19年12月18日に、野田武則氏が取締役副会長に就任しております。

注3. 取締役 竹内重徳氏は、平成20年2月18日に退任しております。

(2) 取締役及び監査役の報酬等の額

取締役 1名 4,800,000円

監査役 ー